

こんにちは！音川小学校のあり方協議会です。

令和6年2月27日(火)、音川地区センターにおいて協議会を開催し、音川小学校の方向性(統合・存続)に関する現時点での各委員の考えについて意見交換しました。



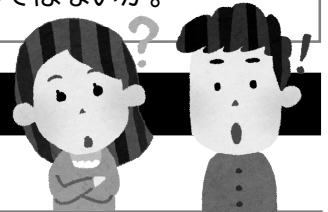
◆音川小学校の方向性(統合・存続)について◆

委員からの主な意見

- ・ 保育所保護者を対象としたアンケートでは、「複式学級になるのなら学校統合のほうがいい」という意見が最も多かった一方で、「小規模校だからこそリーダーシップを育ていけるのでは」、「複式学級も学校統合も心配なので今はどちらがいいとは決められない」という意見もあった。
個人的には、保育所で仲良しだったとしても、ずっと仲良くいれるか分からないし、少人数のままからいきなり中学校の大きい輪に入ってやっていけるか不安もある。小規模校同士で一次統合するなど、早めの統合を望む。
- ・ 将来的には3校(音川小、古里小、神保小)統合して小中合同の学校を城山中の場所に新設するのがよいと思うが、時間がかかるので、その前に古里小などと向こう1、2年程で一次統合できればよい。統合するならば、樫尾小の例に倣ってスピード感をもって進めたい。
- ・ スピード感をもって統合すべきとも思うが、アンケート結果を見て、小規模校でもいいという方がいることも考えると、自分の意見としてまとめる(結論を出す)のはまだ難しい。
- ・ 新1年生は5人、さらに下学年の同級生は2、3人ほどで、6年間を過ごすと思うと少なすぎて不安だ。古里小と統合か3校統合か、いずれにしてももう少し人数の多い環境で小学校生活を送ってほしい。
- ・ 今統合を先延ばしにした場合、次に統合について考えるタイミングはいつなのか。新入生がゼロになるまで待つわけにもいかないと思う。スピーディーに話を進めてほしい。
- ・ 望ましい人数についてそれぞれ考えはあると思うが、複式学級が編制されるか否かはひとつの目安になるかと思う。複式学級編制が見込まれているので、できるだけ早い統合を望む。
- ・ 少人数、複式学級なりの学習方法はあるし、田舎ならではの自然学習は子どもにも先生にとっても勉強になる。一方、住民、子どもが減ってきているのは紛れもない事実なので、学校統合で自分の卒業した学校がなくなるのは大変忍びないが、統合も仕方がないのでは。
- ・ 音川小は交友関係に制約があるのではと感じていた。学校以外のクラブチームなどで神保小と古里小の子どもたちと一緒に活動し、早くから交流することでスムーズに中学校に行けるケースもある。いろいろな選択肢があっていいし、一概に統合がベストとは言えないが、統合が一番手っ取り早いのでは。

(裏面につづく)

- ・ 幼少期は身近な郷土の範囲で、中学校ではそれが2つか3つ集まった少し大きな範囲で、高校では県全域、その後は全国規模でというように、子どもの発達段階に応じて切磋琢磨できる環境が理想だと思っている。複式学級がダメとは思わないが、将来的に学年で数人とかになるとつらいとも思う。一度に3校統合というよりも、段階的に範囲を広げていく方法もあるのでは。
- ・ 小学校がなくなると地域が衰退すると言う方がおられるが、既に衰退しているから人が減っているわけである。音川の強みである交流センター事業等、小学校が統合しても人を呼べるような地域活性化も含めて進めていけたらいい。
- ・ 小学校がなくなると考えると寂しいが、子どもたちの未来を考えて、小学校同士の交流なども行いながら、段階的に統合を進めるのがよいのではないか。地域の方では、音川に人がたくさん来てもらえるよう今まで以上に発信していけばよい。
- ・ 数の議論ばかりされているが、小学校は地域のシンボルであり、一番大事なものなので、慎重に慎重を期さないといけない。統合ありきではなく、まずは音川地区に学校が存続できる方法を検討しなければならないのでは。いわゆる分校方式は取れないのか。
- ・ 音川小が今のままなら音川地域から出ていこうという保護者世代もいる。先送りにするほどもっと子どもが減る。その状態で無理やり小学校を残して地域が成り立つのか。小学校がなくなったからといって地域がなくなるわけではない。
- ・ サッカーや野球をするにも1チームも組めないというのはかわいそうなので、やはり人数が多いほうがよいのでは。子どもたちの学習の機会についても大人たちが考えていかなければいけない。
- ・ 児童をもつ保護者の皆さんの考え次第だ。音川を背負って立つ若者が、これからの音川をどうしていくかを考え、それに対して年長者は手を差し伸べて道標をつける格好になるのではないかと。



◆協議会としての今後の活動内容について◆

委員からの主な意見

- ・ 保護者の皆さんは複式学級のことについて非常に心配しておられるが、一方で複式学級について我々は知識が少なく、プラスかマイナスか判断がつかない。勉強しなくてはいけないと思う。
- ・ 統合して閉校した後、小学校のコミュニティー(例えばPTAや体協など)が現在どうなっているのかを知りたい。
- ・ 令和6年4月に八尾小との統合により閉校となった榎尾小の地域協議会の方に来ていただき、統合に至る経緯や意見集約のし方について話を聞いてはどうか。

次回協議会 開催日程(予定)

日時 令和6年5月29日(水)19時30分～
 場所 音川小学校 多目的教室にて
 内容 学校統合経験者との座談会
 黒瀬谷地区自治振興会、榎尾小学校PTAの方をお招きし、榎尾小学校の統合に至る経緯などについてお話を伺います。



様々なご意見、知見を集めながら、議論を進めていきます。

◆問い合わせ先(当協議会の事務局)◆

富山市教育委員会事務局 学校再編推進課(担当:高岡・福島)
 ○所在 富山市新桜町6番15号 Toyama Sakura ビル8階
 ○電話 076-443-2241 ○FAX 076-443-2069
 ○E-mail gakkousaihen@city.toyama.lg.jp
 ※本協議会の模様は市ホームページ(右記QRコード)にて公開しています。



協議会の内容はこちらから